

13. 伊勢の町は式年遷宮のたびに、インフラ整備を行い、イベントを開催することで、観光客の誘致を進めてきた。下記のインフラ整備や、イベントの開催は、いつの式年遷宮とかかわっていますか。式年遷宮を記号で答えなさい。

(イ) 第 58 回式年遷宮

(ロ) 第 59 回式年遷宮

(ハ) 第 60 回式年遷宮

(ニ) 第 61 回式年遷宮

(81) みえ国体の開催

(82) 参宮急行電鉄（現近鉄）の開通

(83) 伊勢自動車道の開通

(84) お伊勢博覧会の開催

14. 次の設問に該当する事業所名を、記号で答えなさい。

(85) 明治以来の製材、木工機械メーカーで、今回サンアリーナ近くに新工場を建設したのは

(イ) 松井鉄工所

(ロ) 廣瀬精工

(ハ) キクカワエンタープライズ（旧・菊川鉄工所）

(ニ) ゴーリキ

(86) わが国の鍵のリーディングメーカーは

(イ) 美和ロック

(ロ) 小橋電機

(ハ) 廣瀬精工

(ニ) NPW 技研

(87) 風力発電にもとりくむ電機メーカーは

(イ) 藤本電器

(ロ) UL Japan（旧・ユーエル エーペックス）

(ハ) シンフォニアテクノロジー（旧・神鋼電機）伊勢製作所

(ニ) 京セラ 三重伊勢工場

15. 伊勢の地場産業に関する説明のうち、それぞれ1つ間違いがあります。それを記号で答えなさい。

(88) 伊勢春慶は、(イ) 江戸期から昭和中期まで、伊勢を代表する地場産品として作られていた。(ロ) 下塗りの上に、赤や黄色の漆をかけ、(ハ) 重箱や弁当箱、膳などが作られた。(ニ) 昭和30年代にプラスチックの登場で一気に衰退した。

(89) 大湊の造船業は(イ) 大湊が神宮の外港として、廻船の拠点であったこと、朝熊山や宮川上流に巨木を得られたことで発達した。(ロ) 延元元年(1338)北畠顕信らが、ここで100艘の船を集めたと伝えられる。(ハ) 江戸期、大湊は伊勢湾一帯の廻船業者の造船地として栄えた。(ニ) その後も昭和50年ころまで栄えたが、船舶の大型化とともに衰退した。

16. 外宮前と外宮参道周辺は今回の式年遷宮で大きく様変わりしました。その様子を述べたつぎの文章を、それぞれ回答群から適語を選んで完成させなさい。

伊勢市駅を出て、25年ぶりにできた鳥居をくぐると、左には変わらず(90)の森が、右には新しいホテルを含む商業施設ができました。200mほど行くと、左に風格のある金文字看板の刃物店(91)があります。さらに100mほど歩くと今度は右に、戦災前の駅前通りのすがたを彷彿とさせる木造3階建ての旅館(92)があります。その先は、かつて(93)の折り返し点のあった辻です。そのまわりには、大正時代に建造された旧山田郵便局電話分室の建物がレストラン(94)として活用されています。そして、伊勢せきや、勢乃国屋、豚捨、赤福といった新しい店が軒を並べました。

外宮前広場の向こうには、せんぐう館が平成24年に開館しました。せんぐう館の南には、(95)があり、池畔はこれまで伊勢の人々の憩いの地になっていました。この池は江戸期からあり、明治後期に(96)の手で整備されました。

(90) (イ) 須原大社 (ロ) 世木神社 (ハ) 藤社 (ニ) 箕曲中松原神社

(91) (イ) 三条杉山 (ロ) 今一色
(ハ) 伊勢菊一(旧・菊一文字本店) (ニ) 関

(92) (イ) 宇仁館 (ロ) 高千穂館 (ハ) 大和館 (ニ) 山田館

(93) (イ) 神都電車 (ロ) 三交バス (ハ) 伊勢電鉄 (ニ) 参宮電鉄

第8回 初級【ものづくりとくらし編】

(94) (イ) 開福亭
(ハ) ボンヴィヴァン

(ロ) グリル片山
(ニ) ハーモニー

(95) (イ) 二つ池 (ロ) 勾玉池 (ハ) 佐八池 (ニ) 鏡池

(96) (イ) 神宮司庁 (ロ) 宇治山田市 (ハ) 神宮崇敬会 (ニ) 神苑会

17. つぎの用語は、人の動作や状態、感情などを表すこの地域の方言ですが、それぞれ回答の中から、言葉の説明の正しいものを1つ選んで、記号で答えなさい。

(97) にかにかする

(イ) くすぐったい (ロ) 痛む (ハ) 寒気がする (ニ) はっきりしない

(98) けなりい

(イ) うらやましい (ロ) きなくさい (ハ) 苦しい (ニ) 足が痛い

(99) ほっこりせん

(イ) ちらけない (ロ) 顔を隠さない
(ハ) おいしくない (ニ) はっきり良くならない

(100) そばえる

(イ) そびえる (ロ) そばへよる (ハ) はびこる (ニ) じゃれる